

# ひらひら ひらひら 第31回 Tシャツアート展 砂浜で楽しむ6日間



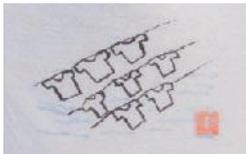
## 入賞作品から大賞と優秀賞を紹介します

### 砂浜大賞 1点



作品名：かっこいいのしし  
作者：中満 惣一さん

### 優秀賞 2点



作品名：Tシャツ  
作者：西森 音乃楓さん



作品名：Tシャツの世界  
作者：岡林 薫志さん



**Tシャツアート展**

第31回Tシャツアート展が5月2日(木)から5月7日(火)、砂浜美術館(入野の浜)で開催され、3万4千人を超える来場者で賑わいました。

Tシャツアート展は、1989年よりNPO砂浜美術館が開催。砂浜を美術館に見立て、公募により全国から集まったオリジナルの絵や写真、デザインをTシャツにプリントし、浜辺に立てた杭に展示するイベントです。

今年の応募数は、1千13点にのぼり、町内から223点、国内34都道府県のほかモンゴルやガーナからも応募がありました。

審査員には、落語家の柳家花緑(はなろく)さんを迎え、今年の入賞作品を選びました。

来場者は、風に揺れるTシャツを撮影したり、好きな作品を見つめながら浜辺を歩きました。高知市から友人と訪れた女性は、「いろいろな写真や絵がTシャツになっていて面白いし、とてもきれいな景色だった。来年も訪れたいと話しました。」

# サンドアートウエディング



南国市出身の新郎・山田信二さん、高知市出身の新婦・詩保乃さん、長女のこのちゃんと3人で迎えた砂浜ウエディング



5月5日(日)、Tシャツアート展会場の西側でウエディングプランナーリぼんの主催による「サンドアートウエディング」が晴天の中行われ、新郎新婦は親族や友人、Tシャツアート展に訪れた観光客の前で永遠の愛を誓いました。

式では、黒潮町の塩などをガラスの瓶に入れる「サンドセレモニー」や、指輪交換などが行われ、大西勝也町長から黒潮町産の和紙で作られた結婚証明書が手渡されました。その後、新郎新婦とゲスト全員でバルーンリリースを行い、青空に鮮やかな風船が舞い上がり、会場は祝福に包まれました。

新郎新婦は、「今は東京に住んでいるが、地元の良さを友人にも伝えたくて高知での挙式を選び、最高の思い出ができた。これから仲良く笑顔の絶えない家庭を築いていきたい」と喜びを語りました。

期間中はさまざまなイベントが行われました

## 砂浜 ひらひらステージ



JICA四国(世界のダンスパフォーマンス)



カズダンススクール(ダンス)



ルアナと楽しい仲間たち(フラダンス)

## 第14回 ビーチサン飛ばし大会 青空授業



ビーチサンダルを飛ばす参加者



入賞した子どもたち



町内の小学生を対象に5月7日(火)、「青空授業」が行われました。砂浜には児童らの作品が展示されており、それらの前でNPO砂浜美術館の坂田実緒子さんから、砂浜美術館の説明などを受けました。自分のTシャツの前に児童らは「きれいだった。Tシャツを着るのが楽しみ」と話しました。



賑あう出店



浜辺のポスト